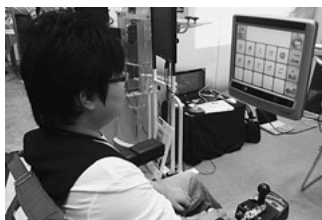


私のおすすめ

自立を支える「技術」と「理解」 ～国際福祉機器展で見つけた福祉用具～

高齢者と障害者の自立のための福祉機器を集めた「第38回国際福祉機器展H. C. R. 2011」が、10月5日から7日まで、東京ビッグサイトで開かれました。13カ国1地域から510社・団体が出展。自立支援機器や介護の負担を軽減する福祉用具など、およそ2万点が展示されました。その中から、私たちKILCスタッフが便利だと感じたコミュニケーション機器、生活用具などをご紹介します。

❖ 視線を使って文字入力やメール送信



頭を固定することなく使える「マイトビーP10」

「マイトビーP10」は、ALS（筋萎縮性側索硬化症）、筋ジストロフィー、頸髄損傷などのため、パソコンのキーボードやマウス操作が困難な人に使いやすい意思伝達装置です。アイコンを一定時間見つめることで、文字入力ができます。

❖ 手の不自由な人にも便利な爪切り

「台付爪切りⅡ」は、緊張などで無意識に手が動いてしまう人が、爪の位置を合わせてから、もう一方の押手部分を軽く押し下げることで爪が切れます。「ワンハンド爪切りⅡ」は、切りたい爪のある手を木の台に乗せて、手のひらごと押し下げると、片手だけで爪を切れます。



奥2つが「台付爪切りⅡ」、手前が「ワンハンド爪切りⅡ」

❖ 物をつかみづらい人のために、巻きつけるグリップ

握力が弱くなった人も、この「くるくるグリップ」「くるくるシリコングリップ」をスプーンや歯ブラシ、ペンなどに巻きつければ、太く持ちやすく、滑りになくなります。



「くるくるグリップ」

今月は ⇨ **NPO法人神奈川県障害者自立生活支援センター** がお伝えします!

通称KILC（キルク）。1997年4月設立。障害者の自立生活を目指してピアカウンセリング（障害者による相談事業）や各種情報提供、障害者施策の研究・提言など障害当事者の目線で共生社会の実現を目指した活動を展開。現在、厚木・平塚2カ所を拠点に活動中。

〈連絡先〉〔法人本部〕厚木市愛甲953-2
TEL046-247-7503 FAX046-247-7508
URL <http://www.kilc.org>
E-mail info@kilc.org

❖ 色を識別、振動で伝える白杖

「マイ・ケーン」は、点字ブロックや歩道の線の色によって情報を検知し、視覚に障害のある人に振動で伝える白杖です。この白杖が使われるようになれば、色を識別できるため、点字ブロックの代わりにラインテープを引くなど、点字ブロックの凹凸が車いすを利用する人の妨げにならないようにする方法も考えられるそうです。

❖ 「技術」と「理解」の二人三脚

福祉機器開発の成否は、利用者に対する理解や思いやりの度合いによって左右されることを実感しました。どんなに優れた技術でも、障害のある人のニーズを理解できていなければ、使い勝手の悪い製品になってしまうでしょう。また、新しい白杖が開発されても、歩道に自転車などの障害物が放置されたままでは、視覚に障害のある人が安心して歩くことはできません。本当の福祉社会は、「技術革新」と「社会の理解」との調和の上でこそ実現できるのではないかと、国際福祉機器展の見学を終えて、そう感じました。

インフォメーション

- トビー・テクノロジー・ジャパン(株)(マイトビーP10)
☎03-5793-3316 FAX03-5793-3317
URL <http://www.tobii.co.jp>
- アビリティーズ・ケアネット(株)(台付爪切りⅡ、ワンハンド爪切りⅡ)
☎03-5388-7200 FAX03-5388-7502
URL <http://www.abilities.jp>
- 株台和 日用品営業部(くるくるグリップ、くるくるシリコングリップ)
☎03-3834-4115 FAX03-5688-3136
URL <http://www.daiwa-grp.co.jp/>
- 株ティーエヌケー商品事業部(マイ・ケーン)
☎042-597-6595 FAX042-597-6570
URL <http://www.k-tnk.co.jp>